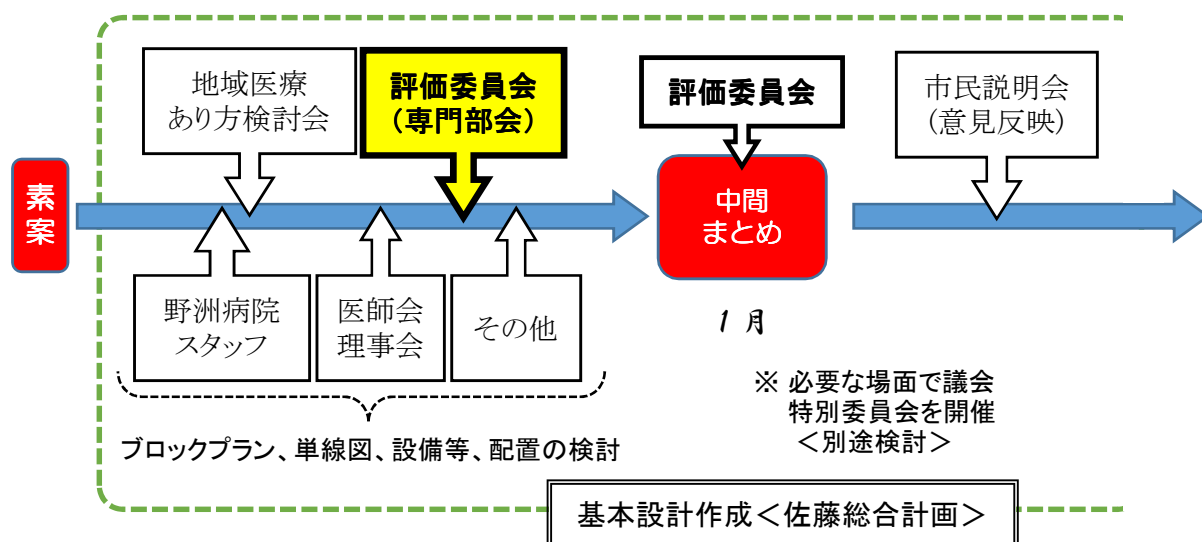


病院基本設計作業に伴う検討ポイントと今後の流れ等

○検討の流れ



○主な検討課題

- ・ブロックプラン 《全体イメージ》
- ・単線図 《一部詳細》
- ・医療設備等

○着眼点

- ・医療スタッフの観点
- ・利用者の観点
- ・専門家の観点（医療、建築等）

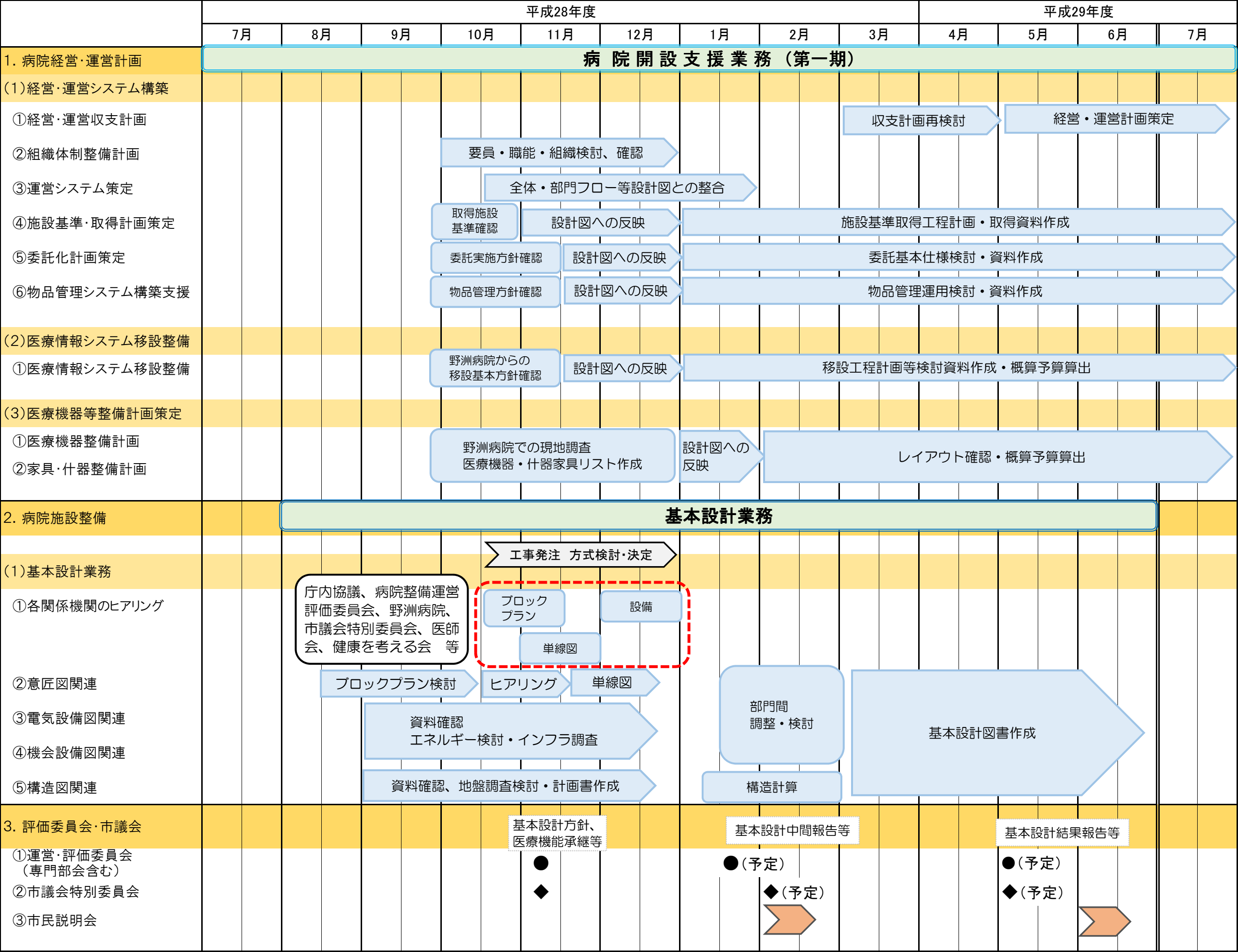
○当面の流れ

- ・10月13日(木) 市における内部調整
- ・10月19日(水) 野洲病院説明
- ・10月20日(木) 地域医療あり方検討会（在宅ケア部会）
- ・11月1日(火) **病院整備運営評価委員会** ※ 意見が聞けそうな場面があれば、適宜設定
- ・11月4日(金) 市議会特別委員会
- ・11月10日(木) 医師会理事会
- ・12月上旬 評価委員会専門部会又は委員個別ヒアリング
- ・12月中旬頃まで **中間まとめ**

平成29年

- ・1月下旬 病院整備運営評価委員会
- ・2月上旬 市議会特別委員会
- ・2月中旬頃 市民説明会

(仮称)野洲市民病院整備事業推進スケジュール_基本設計業務等



1.ブロックプランの検討について



1.目的

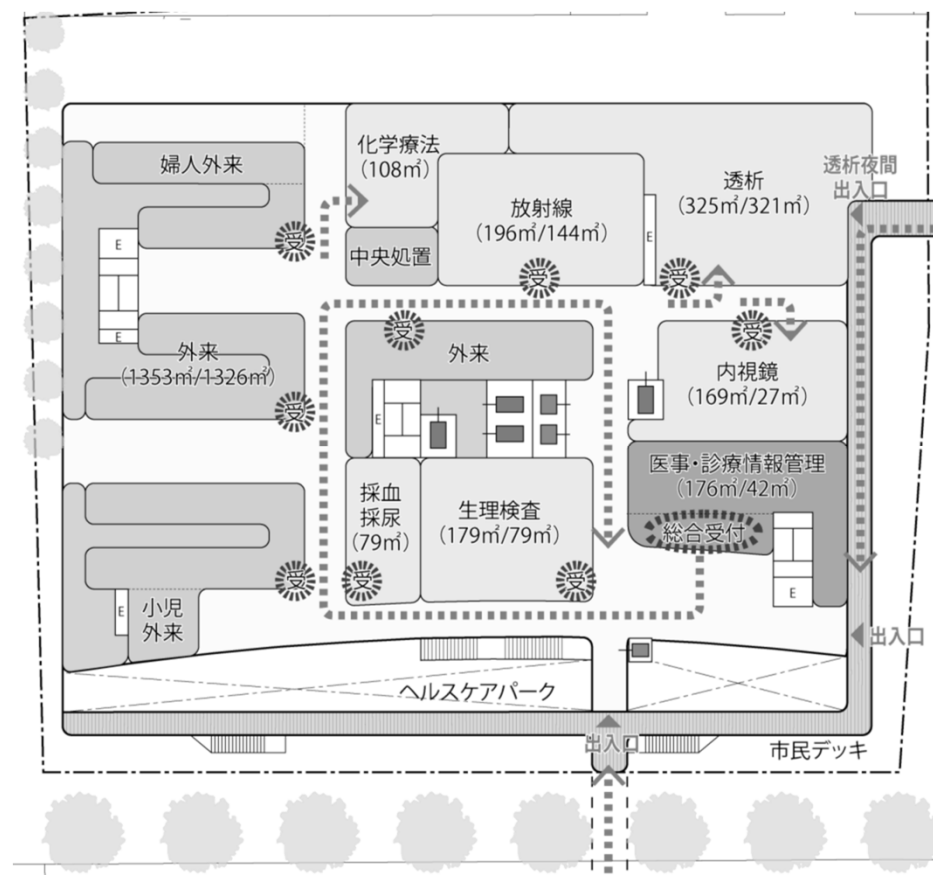
病院の骨格となる部門配置を確定し、
以後の諸室の検討をスムーズに進める
ことを目的とします。

2.主な検討内容

- ①. 階単位の構成
- ②. 各フロアの部門配置
- ③. 主な動線の確認
- ④. その他設計に関わる運営条件の確認

※これにより全体配置を一旦確定します。

以後の検討では、原則大きな配置の変更は
ないものとして進めます。



ブロックプランイメージ

2.単線図の検討について



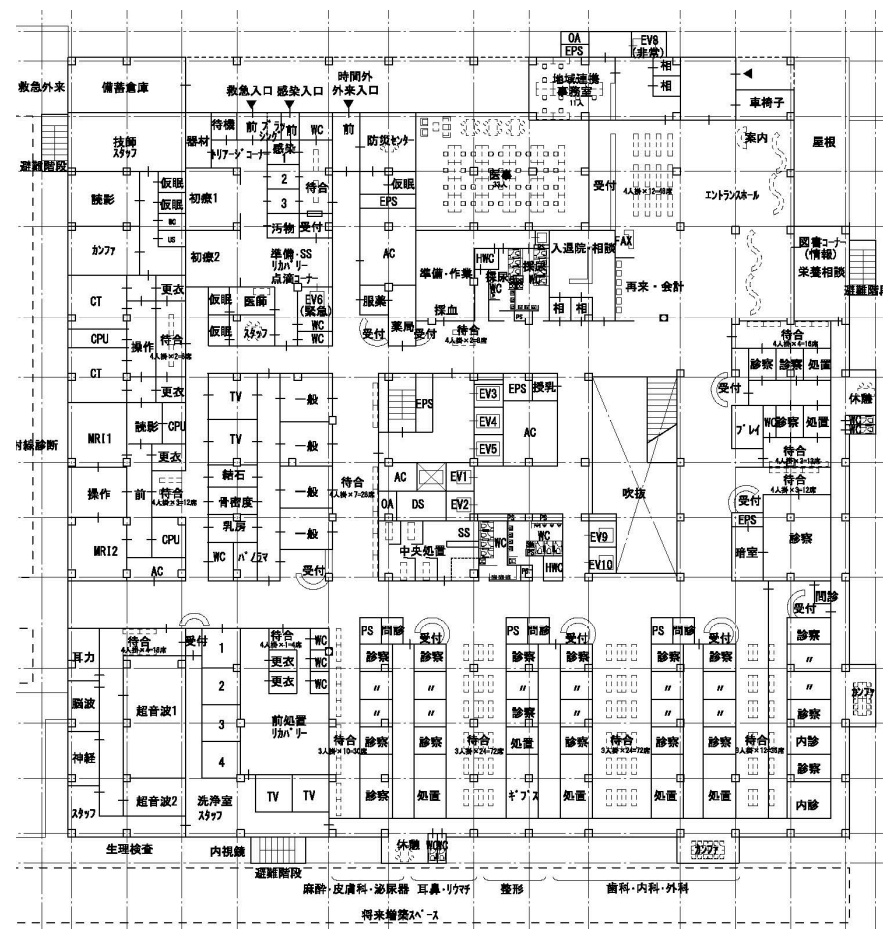
1.目的

各フロアの部門毎に必要な諸室数、面積、動線等を確認することを目的とします。

2.主な検討内容

- ①. 部門毎の必要諸室
- ②. 部門内の動線
- ③. その他設計に関わる運営条件の確認

※これにより動線を含めた病院の基本的な配置を一旦確定します。



単線図イメージ

3.設備配置の検討について



1.目的

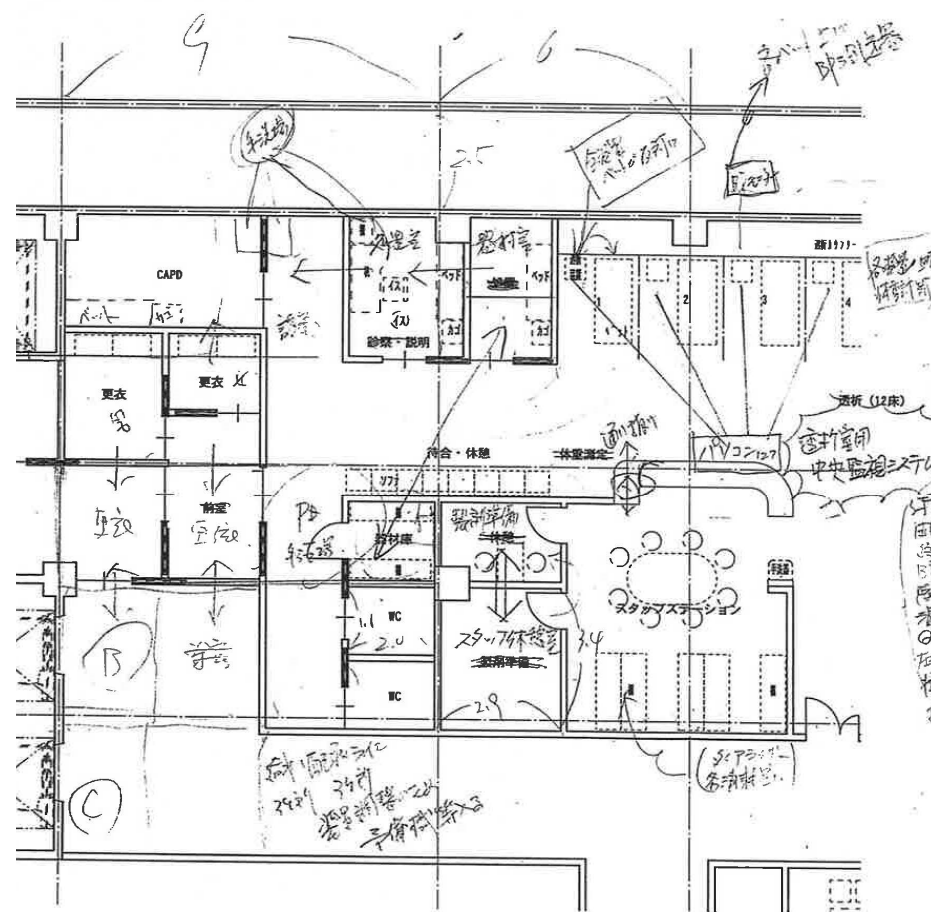
医療機器や大型什器の配置を確認し、
平面計画との整合を確認することを
目的とします。

2.主な検討内容

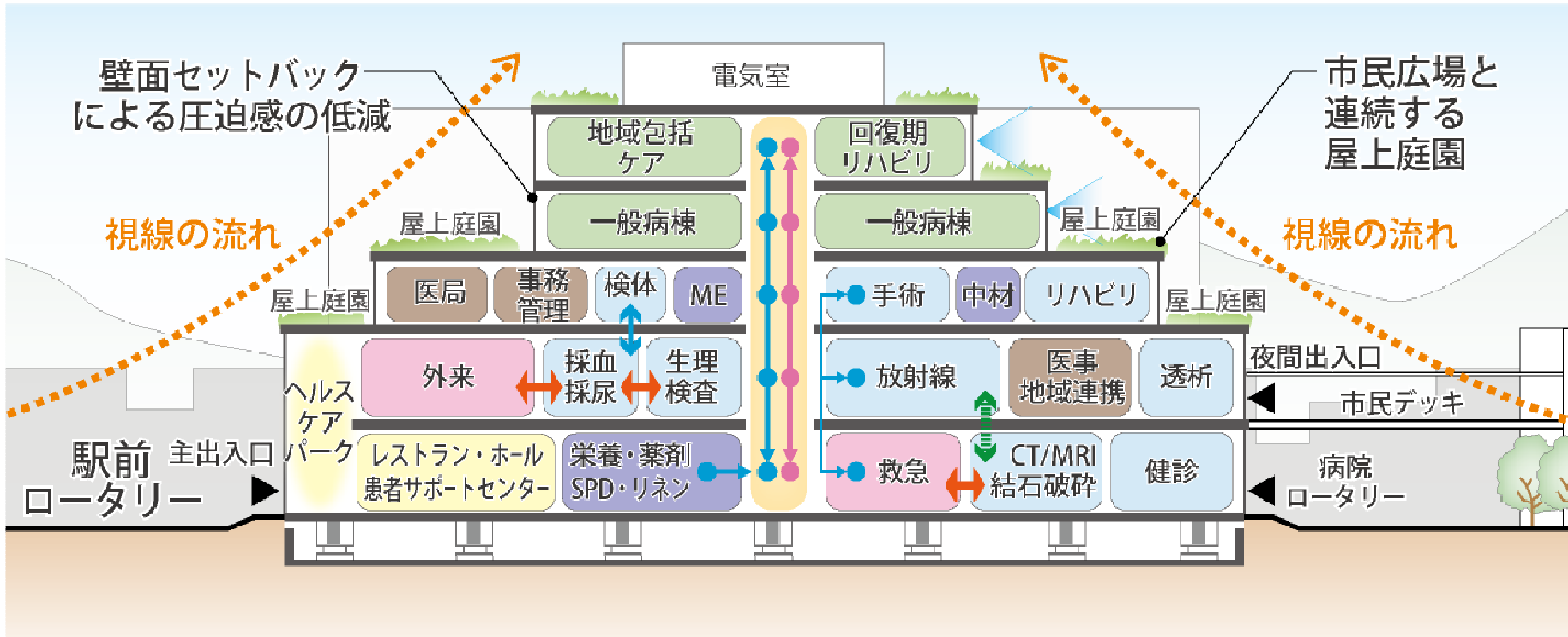
- ①. 大型医療機器の想定(仕様、台数)
- ②. 大型什器の想定
- ③. 移動が可能な医療機器の想定
- ④. 温度・湿度・電圧等の負荷条件

※これにより、電源・給排水・排気・

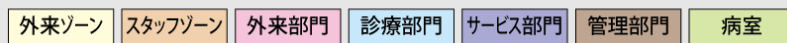
室環境等を実施設計に反映すること
が可能となります。



設備ヒアリングイメージ



【凡例】



関連部門の平面集約と垂直連携によるゾーニング・周辺環境と調和した病院の形態

ポイント

- ①. 外来診療は2階で完結し、患者は上下階の移動なく診察が完了
- ②. 1階の救急部門と3階の手術部門は専用EVで直結
- ③. 2階の採血・採尿と3階の検体検査は小荷物専用EVで直結

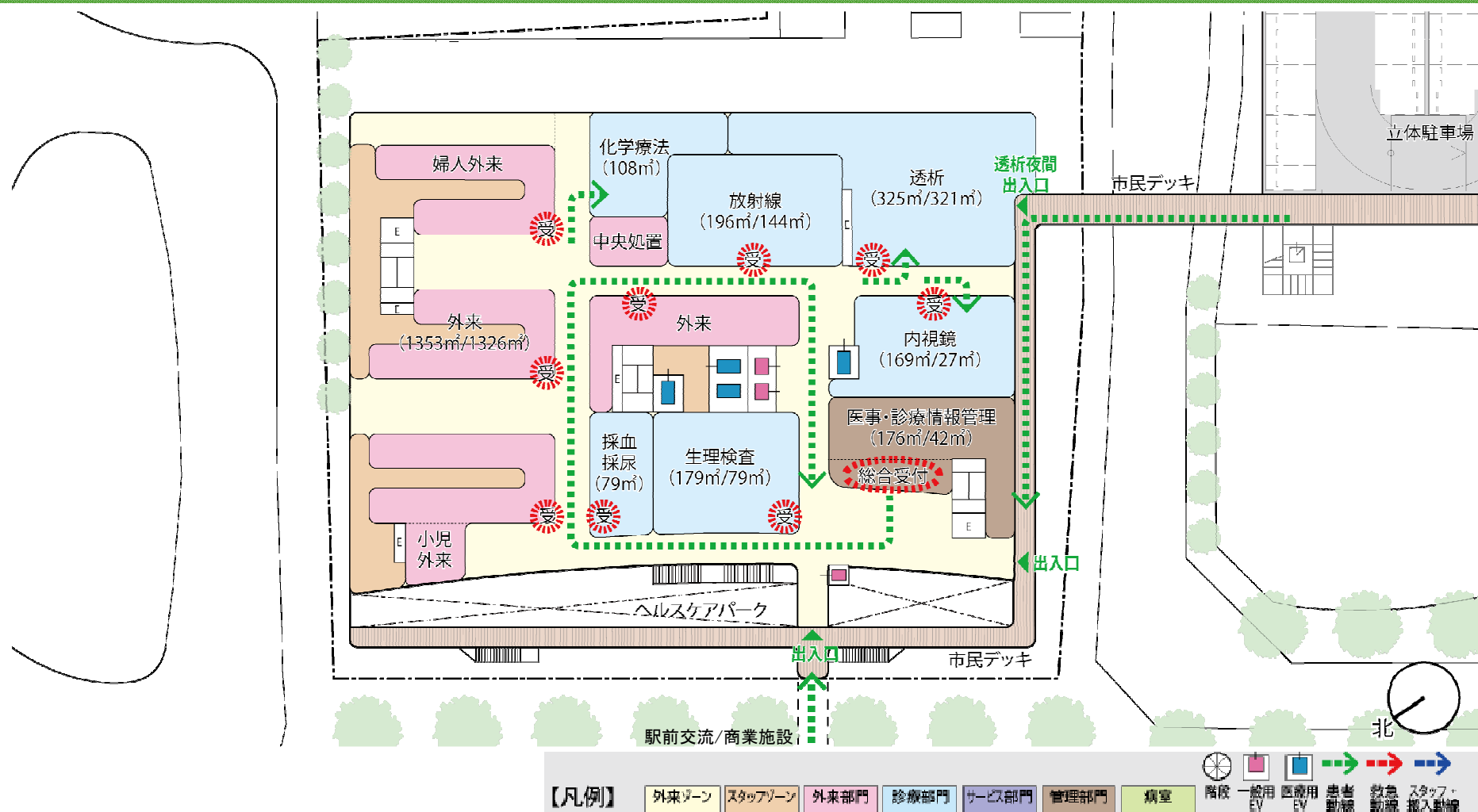
5. 1階平面計画について



○ 検討事項

- 救急部門の運用方法の確認
- レストラン・コンビニの運用、野洲けんこうホールの運用の考え方
- 患者サポートセンターの考え方(地域包括支援センター機能、地域連携機能、訪問看護ステーション機能、入退院調整機能、執務室等)
- 夜間出入り口へのアクセス
- 交流/商業施設との機能の共用化(会議室、レストラン、薬局、WC)
- 各部門の運営方法との整合

6. 2階平面計画について



○ 検討事項

- ・ 外来、入院、救急などの会計の方法
- ・ 外来診察室数の設定
- ・ 透析部門の運用の確認
- ・ ヘルスケアパーク内の外来用EVの扱い
- ・ 各部門の運営方法との整合

7. 3階平面計画について



○ 検討事項

- ・ リハビリ部門の運用と面積設定の妥当性
- ・ 各部門の運営方法との整合

8. 4階平面計画について(一般50床×2)



- 検討事項
 - ・ 個室率の設定
 - ・ 差額ベット数の設定
 - ・ 各部門の運営方法との整合

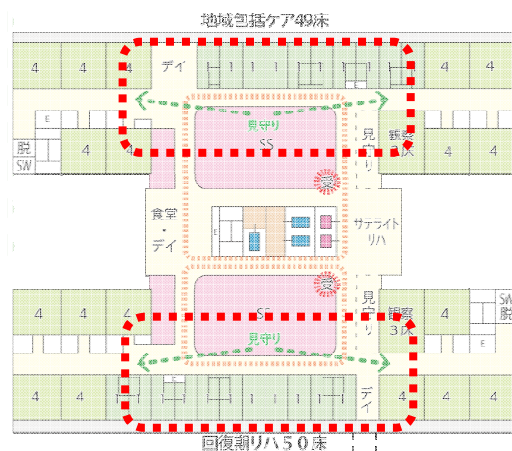
9. 5階平面計画について(地域包括ケア49床、回復期リハ50床)



- 検討事項
 - ・ 病棟リハビリの考え方について
 - ・ 個室率の設定
 - ・ 差額ベット数の設定
 - ・ 各部門の運営方法との整合

10.病棟計画イメージ

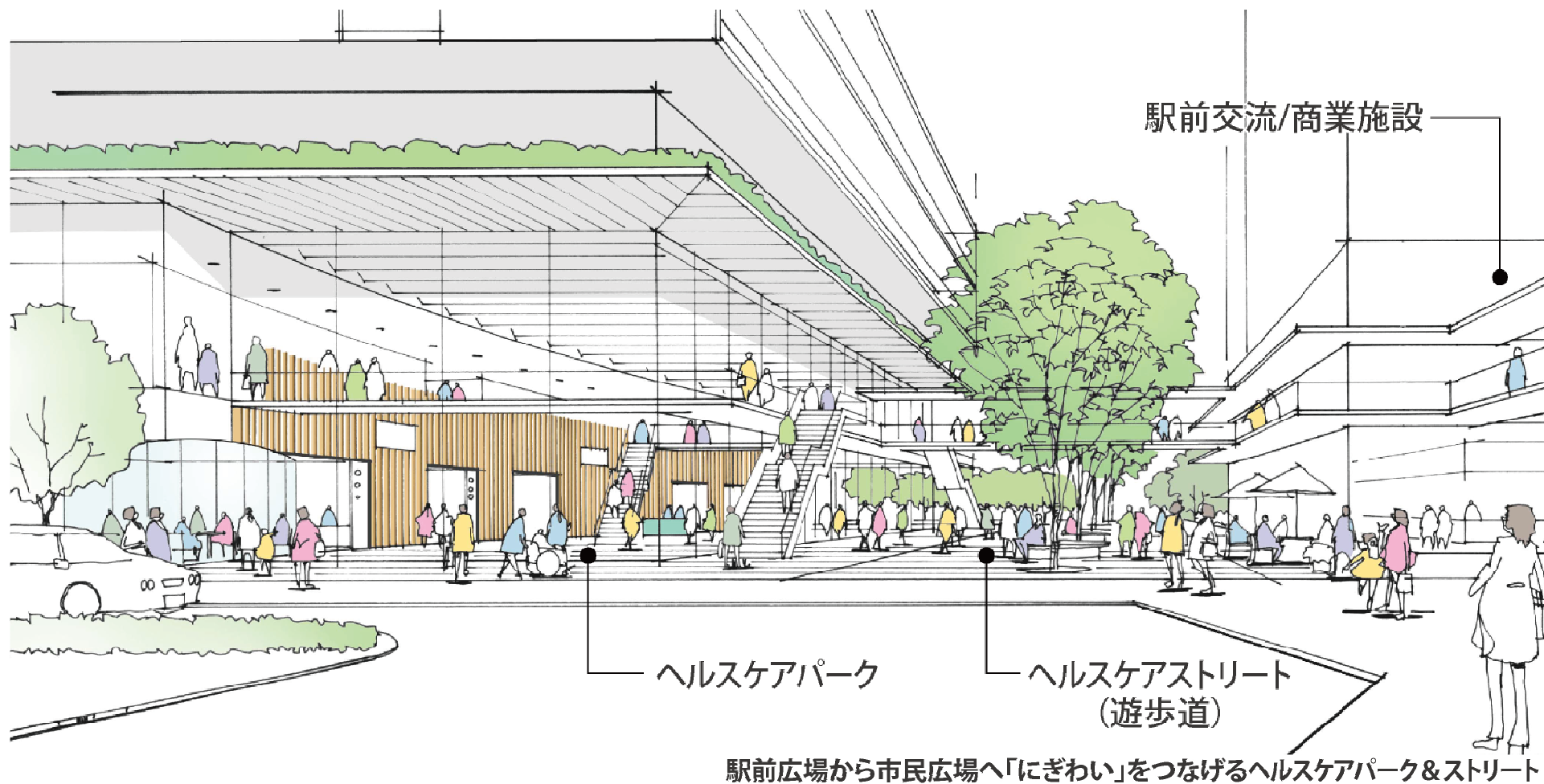
- 見守りしやすい
個室ゾーン



スタッフステーションから見守りやすい個室ゾーン

11. 参考資料

「野洲ヘルスケアタウン」

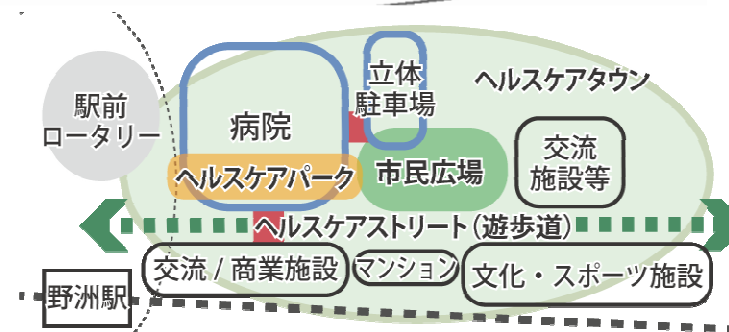


新病院は駅前の利便性を活かした、誰にとってもアクセスしやすく開かれた、医療・保健・福祉介護の連携拠点となります。

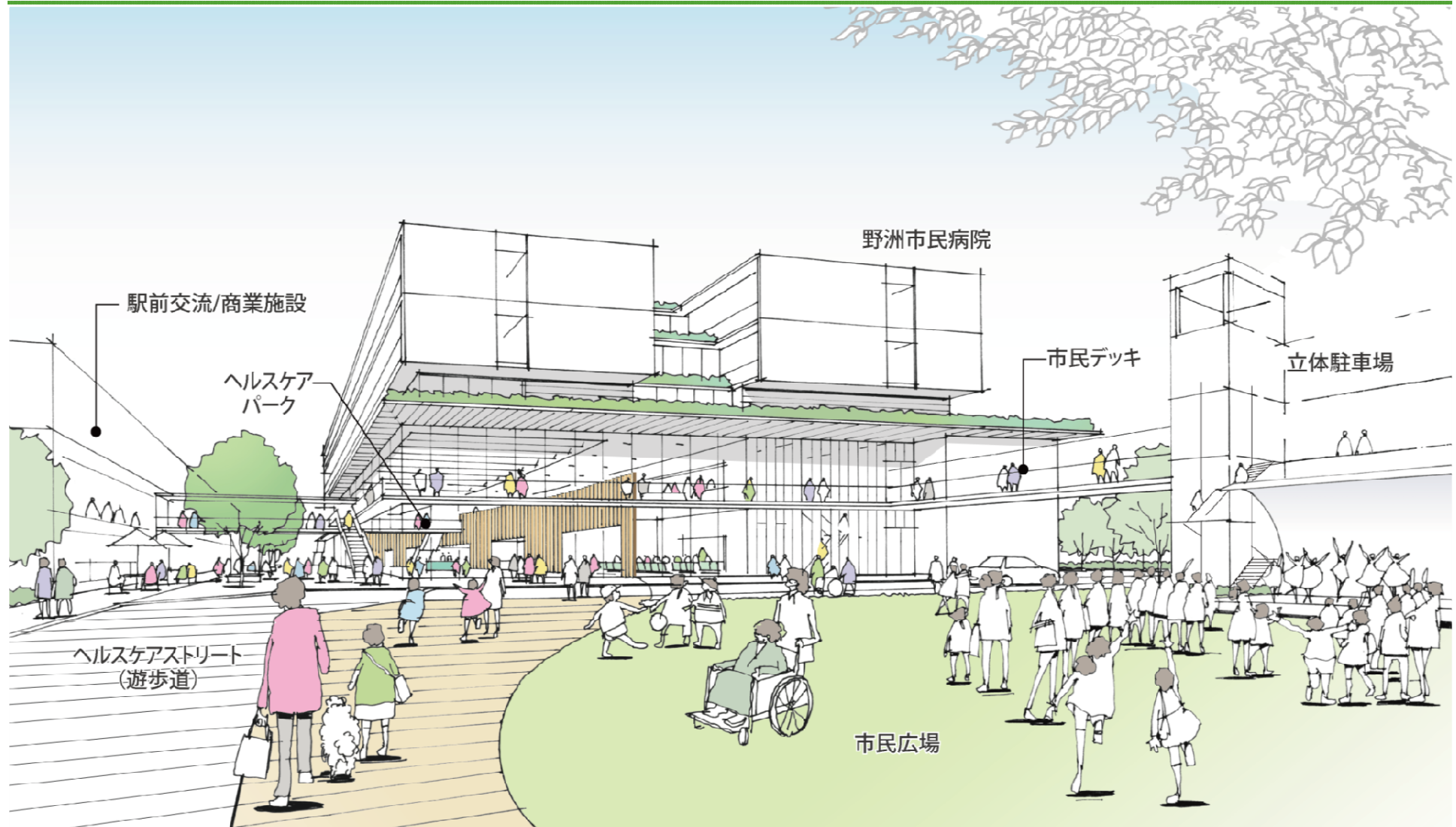
12. 参考資料



- 1階は「地域包括ケア」の機能を担います。
- 2階以上は病院の機能を担います。
- 病院と市民広場、その2つに挟まれた道路で仕上を統一することで、歩行者優先の「ヘルスケアタウン」としています。



13. 参考資料

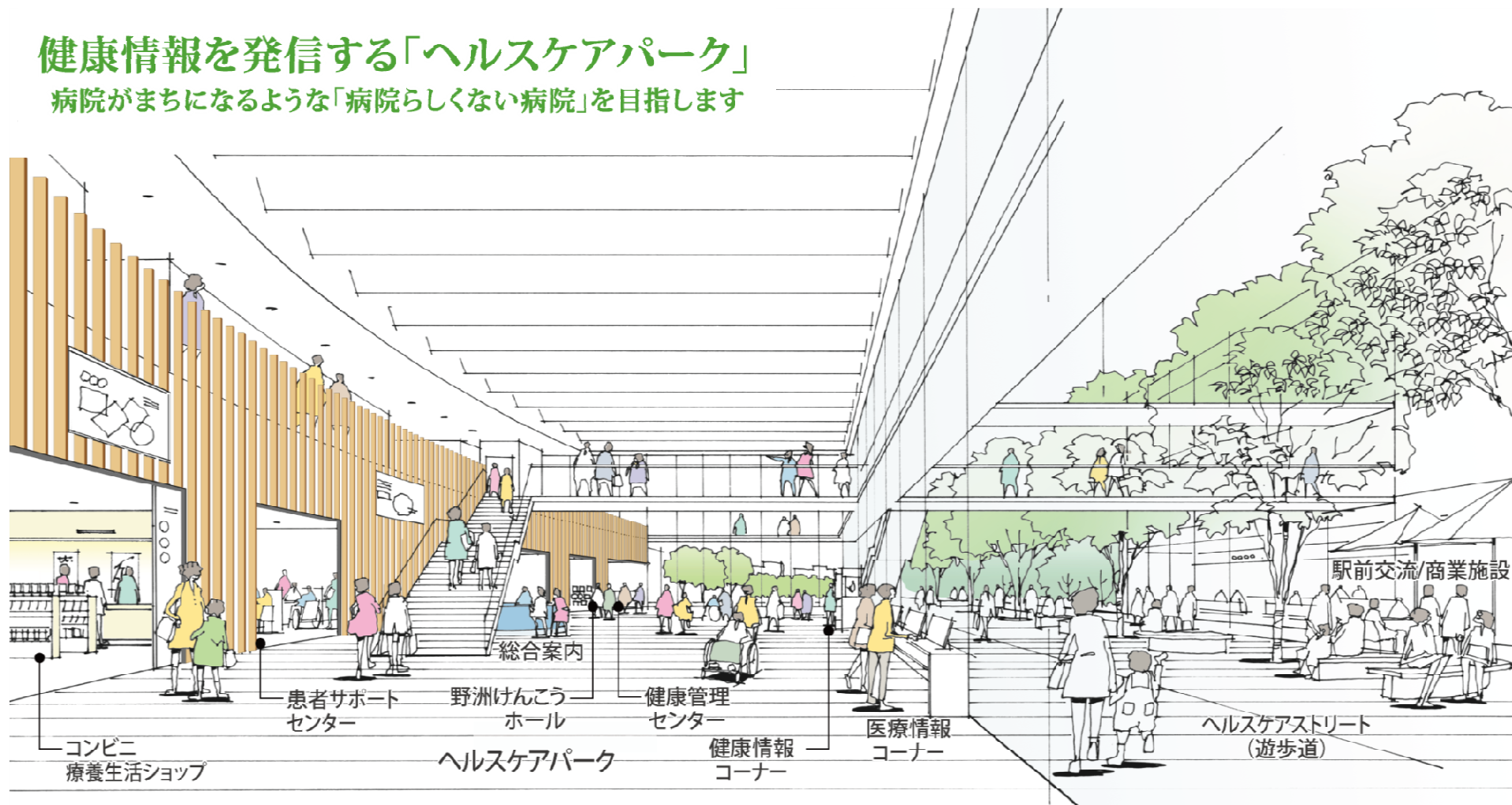


- 市民デッキを設け、立体駐車場から安全なアプローチを確保します。
- 病院、市民広場、道路の仕上げを統一し、安全な歩行者空間を確保し、ヘルスケアパークと市民広場を連続させることを検討しています。

14. 参考資料

健康情報を発信する「ヘルスケアパーク」

病院がまちになるような「病院らしくない病院」を目指します



健康づくり発信の要「ヘルスケアパーク」から広がるにぎわいのイメージ

ヘルスケアパークでは、向かい側の交流/商業施設と一体となり、遊歩道の両側に、魅力的で、歩いていてワクワクするような、いつでも活気のある空間を目指しています。